

大望年会 in 仮設住宅

【活動名】大望年会 in 仮設住宅

【活動理念】

東日本大震災があった2011年も残すところ、あと1ヶ月となった2011年12月。仮設住宅での生活も半年を迎え、住民の中でも徐々にコミュニティが生まれ、自治会のつながりや、近隣住民との交流の機会も増えつつあります。福大ボラセンでも各仮設住宅にお邪魔して、自治会や住民のみなさんと一緒になって芋煮会や季節に伴った各種イベントを行ってきました。今回も、人々が集まり、毎年行われ、今年の年忘れの最後の大会イベントということで、大望年会を企画しました。今回も今までのコミュニティ支援同様、住民自治の助長、コミュニティ支援というスタンスで、あくまで、住民のみなさんと一緒になって、楽しく声を掛け合って、たくさんお話する直接的仮設住宅支援を目標としました。特に”コミュニティの形成”、”人間関係の構築”、”心のリフレッシュ”をコンセプトに活動しました。

【活動に至った経緯】

望年会企画の背景に、大きく2つの団体とのコネクションがありました。

始めの出会いには2011年7月11日のビックパレットふくしまでのシンポジウムです。福大ボラセンから伊藤が参加しました。そこで、出会ったのが、「一般社団法人 Think the Earth」(当時は「Think the Earth プロジェクト」)でした。シンポジウムで私たちの活動を知り、50万円の寄付をしてくださいました。

その後、2011年10月にThink the Earth主催の会に再度パネリストとして伊藤が出席したところ、福島出身の人が集まり、復興のために活躍する「Link with ふくしま」という団体に会いました。Link with ふくしまの菅家元志代表(慶應義塾大学大学院生)とともに、今後の仮設住宅での支援イベントについて話していたところ、クリスマス会の案が上がりました。

再度2011年11月にThink the Earthの方々との今後のボラセンとの連携支援のお話をする機会がありました。参加して下さった当団体の原田麻里子さん、風間美穂さんとお話をしたところ、「クリスマス会は他の団体もやるようなので、私たちは、年の終わりに日本中どこでも普通に行われる忘年会をしよう」ということになり、実施に至りました。特に、仮設住宅における忘年会の意図は、上記で述べたとおりですが、“忘”年会ではなく、“望”年会としたのは、2011年を忘れるのではなく、2012年の幸せを望むという前向きの意味での“ぼうねんかい”であります。

【日時】

2011年12月27日（火）、28日（水）

【場所】

12月27日：宮代第一及び第二応急仮設住宅（以下宮代仮設住宅）
松川第一工業団地跡応急仮設住宅（以下松川第一仮設住宅）
旧明治小学校跡応急仮設住宅（以下旧明治小跡仮設住宅）
12月28日：旧飯野小学校跡仮設住宅（以下旧飯野小跡仮設住宅）
旧松川小学校跡仮設住宅（以下旧松川小跡仮設住宅）

計5か所

【参加人数】

宮代仮設住宅：学生及び支援団体8名、住民34名、計42名
松川第一仮設住宅：学生及び支援団体14名、住民80名、計94名
旧明治小跡仮設住宅：学生5名、住民15名、計20名
旧飯野小跡仮設住宅：学生及び支援団体15名、住民17名、計32名
旧松川小跡仮設住宅：学生及び支援団体13名、住民17名、計30名

計218名

【活動内容】

- ・宮代仮設住宅：餅つき（あんこ、きなこ、納豆）、そば、ビンゴ大会
- ・松川第一仮設住宅：そば、稲荷すし、懇親会
- ・旧明治小跡仮設住宅：そば、ビンゴ大会
- ・旧飯野小跡仮設住宅：そば、ビンゴ大会
- ・旧松川小跡仮設住宅：餅つき（あんこ、きなこ、納豆）、そば、ビンゴ大会

【立案から当日までの流れ、準備】

- ・企画書立案
- ・実施場所の確定
- ・プレイスリーダー決定
- ・実施場所への訪問、傾聴活動
- ・自治会長・管理人へのあいさつと、入念な話し合い
- ・浪江、飯館社会福祉協議会へのあいさつ
- ・場所の下見
- ・仮設住宅へのプレスリリース
- ・仮設住宅内の参加者の募集

- ・ Link with ふくしまへ “Ready for” へのリリース依頼
- ・ 必要物品の調整、準備、借用、購入、整理
- ・ Think the Earth への物品依頼
- ・ 当日参加者の募集、確定（福大ボラセン、ふくしま復興支援学生ネットワーク、その他つながりのある団体）

～開催以後

- ・ 後援団体への開催報告書提出
- ・ 決算
- ・ サンクスレターの回収（Ready for から資金援助くださった団体への引換え品）
- ・ 借用物品の返却

【各開催仮設住宅の報告】

○宮代仮設住宅：プレイスリーダー・土谷 一貴（行政政策学類 3年）

宮代仮設住宅では、30名を超える住民の参加がありました。9時に仮設住宅に到着したのですが、すでにたくさんの人が集まっていたらっしゃいました。参加した方々の半分くらいは60歳上の高齢者でした。宮代仮設住宅では、もちつき、年越しそば、ビンゴ大会を行いました。まずはじめに、あったかいもち米が冷める前にすぐに餅をつきました。若いお父さん達が先導して餅をついてくださいました。自分もつかせていただいたのですが、難しい！上手に出来ないのを見かねて、すぐに交代させられました。その後、つきたての餅にあんこ、きなこ、納豆を今度はお母さん方がトッピングし、やわらかい餅をみなさんでいただきました。やわらかくておいしかったです。その後ビンゴ大会で会場を盛り上げ、メインのそばを食べました。具沢山で美味しいうゆで作るそばでしたが、麺をしっかり茹でることができず、「硬い」と皆さんからは辛口の評価でした。しかし、帰り際、「楽しかったわ。また来て気くださいね。」と言われたのが本当にうれしかったです。特にもちつきを楽しみにしていたようでした。「仮設ではもちつきができるとは思わなかった。」おばあちゃんが話してくれました。今回の課題として、住民と学生の交流が少なかったかのように思います。こちらからガンガン話して、たくさん交流できる場にできればよかったですと思います。

仮設住宅だからといって、日常生活や文化までも非日常である必要はない。どこにいても、年末、年越しはやってくる。そこに人がいるならなおさらです。人が集まって、話し、交流し合うことこそ、いまの仮設住宅に求められる、支援の形だと思いました。また、世代を超えた、自治会での交流の場、自治会の積極的活動を手助けすることも足がかりとして僕らが継続していかなければならないと思います。

○松川第一仮設住宅：プレイスリーダー・安達 隆裕（人間発達文化学類 3年）

以前から松川第一仮設住宅を訪問していたこともあり、みなさんと面識が合った分、円滑に企画を煮詰めていくことができました。私が今回の企画において心がけた点が、

「楽しむことは大前提であり、今年の年越しは仮設住宅ではあるけど、震災以前と変わらない楽しみを感じてもらいたい」

ということでした。までいな 1 日や芋煮会で訪れた時からそうでしたが、学生を拒むことなく一緒に楽しんでくださる方が多いのが松川第一仮設住宅の特徴だったと思います。仮設住宅は暗いイメージを持たれがちなステージではありますが、今まで私たちを暖かく迎えてくれたこの仮設住宅で、多くの後援を受け、みなさんにそばといなり寿司を振る舞うことができました。これは私たちからの恩返しのような形であったと思います。ただ準備段階での私たちの不手際により、鍋やガスの借用を請け負わせてしまったことが反省点です。

「今回は仕方ないから次はよろしくね」

と、今の私たちの関係を絶つ様子もなくバックアップをしてくださいました。これが非常に心残りです。終始楽しく、且つ企画を煮詰める際に留意しなければならないことを気づけるとても有意義な企画であったと思います。今の関係を崩すことなく、より仲良く来年度以降も松川第一仮設住宅の皆さんと関わっていけたらなと思います。

○旧明治小跡仮設住宅：プレイスリーダー・渡邊 知佳（行政政策学類 2年）

飯館村の人が生活をしている旧明治小学校跡地の仮設住宅で大望年会を開催しました。仮設住宅自体が小規模なものであり、子どもの数も他の仮設住宅に比べて少ないことから、当日になるまで本当に楽しんでもらえるのか不安がありました。しかしいざ当日になると、予定時間よりも早くに人が集まり始め、高齢者中心の総勢 20 名ほどでわいわいしながらソバやおいなりさんを作りました。おいなりさんは調理が簡単だということもあり、小さい子どもも積極的に調理に参加してくれました。他の仮設住宅では、広い場所を借りて望年会を開催したのですが、この旧明治小跡仮設住宅では場所がなく集会所で開催しました。しかし、狭いからこそ人々の距離が近くなり、アットホームな雰囲気ですぐ笑顔が絶えない望年会になりました。また全員が名札を付けて行ったことから、全員が名前呼び合い、私たちボランティアの学生の名前も覚えてくださり、「また来てね。待ってるよ」との言葉に嬉しさを感じました。ビンゴ大会では、景品が少し子ども向けのものが多かったというような細かな反省点はありますが、全体的にはとてもよい雰囲気で終わることができました。一度、望年会を挨拶で閉めたあともほとんどの人が残り、お話をしたりおばあちゃんが持ってきてくれたお手玉で遊んだりして、交流を楽しみました。望年会の名の通り、大変な 1 年だった 2011 年を締めくくり、新たな 1 年に望みを託す笑顔が溢れた会になりました。旧明治小跡仮設住宅は今まで福島大学災害ボランティアセンターが関わったことのない仮設住宅だ

ったので、この望年会は新たな繋がりを持つとてもいいきっかけになりました。これからもこの繋がりを大事にして継続して関わっていきたいです。

○旧飯野小跡仮設住宅：プレイスリーダー・大矢 直輝（人間発達文化学類 2年）

私が担当した旧飯野小跡仮設住宅は、飯館村の方々が入居していました。こちらの集会所は非常に狭いため、すぐ隣にある地域福祉センターの和室を貸していただき、そこで行いました。福大ボラセンとしては初めて入る仮設住宅だったので、どれくらいの人に来てくれるかという不安もありましたが、当日は小さい子どもたちから年配の方まで幅広い年齢層の方々に来ていただきとても賑わいました。子どもたちは和室や外で遊び、お母さん方は料理の手伝いをしてくださり、とても良い雰囲気でした。こちらの仮設でもビンゴ大会をしたのですが、賞品が子ども向けであったり、ビンゴを良く分からない方がいたりしてお年寄りの方が喜んでもらえるようなイベントにはならなかったという反省点もありました。しかし、午後からは足湯も行い、こちらはお年寄りの方々にも好評でした。今回の活動では、今まで関与していなかった仮設住宅で活動を行うきっかけができたことが大変重要だったと思います。大学からも比較的近い距離にあるので、これからも足湯活動などを通して継続的に関わっていきたいと思います。そして、ほんのひと時でしたが住民の皆さんで過ごせたことが良かったと思います。話を聞くと住民同士で集まるようなイベントはなかったようなので、いろいろあった1年の最後を皆さんで楽しく過ごせてよかったと思います。

○旧松川小跡仮設住宅：プレイスリーダー・神 貴大（人間発達文化学類 2年）

私が担当した旧松川小跡仮設住宅は、福大ボラセンとしては初めて関わりをもったのがこの望年会でした。正直、どんな雰囲気のか、どのくらいの方が参加していただけるのか、全く見えていなかったのが不安がありました。しかし、仮設住宅に行き、自治会長さんや管理人の方とお話をしてみて、「今までここでイベントがなかったから、ぜひ」というお言葉をいただき、安心しました。当日、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで20名近くの方々が参加してくださり、ボランティアとの交流を図りながら盛大に行うことができました。一緒に餅つきをして汁餅などにして食べたり、そばを食べたり、商品をかけてビンゴ大会をしたり、お酒を入れながらお話をしている時の表情はみんな「笑顔」でした。おばあちゃんたちには知恵も教えてもらいながら一緒に調理しました。この仮設では、「本当に今までイベントがなかったため、あまり楽しみがなかった。また来てね。いつでも待っているから」という人がいました。こう言ってもらえることで、自分たちの活動が本当にやってよかったと思えます。こういった声がコミュニティ支援の形成のつながっていくのだと実感しました。しかし、この仮設住宅にはもっと多くの方がいるので、今回参加できなかった人たちも今後巻き込んでいきたいなと思います。

【協力団体】

- ・ Think the Earth : 物資支援していただける団体との交渉、当日の参加
- ・ しぶそば (東急グルメフロント) : そば、お稲荷さんお揚げ
- ・ 佐藤雄飛 : 当日の参加
- ・ 大山千枚田保存会 : うるち米 30kg、日本酒 4 升
- ・ 平良ひとみ : もち米 30kg
- ・ らでいっしゅぼーや : グレープフルーツジュース
- ・ 下田商事株式会社「下田英一」 : うどん、そば
- ・ 水下青果(名古屋) : ビール 2 ケース
- ・ 新城酒店(福島) : 日本酒 5 升
- ・ 武田昌広(秋田) : もち米 10 ㌦
- ・ 京都災害ボランティア支援センター :
飲料(京都府の子どもからの応援メッセージ付きの物)、現金 5 万円
- ・ Link with ふくしま : Ready for との交渉、当日の参加
- ・ Ready for : 資金調達の援助
- ・ Ready for に賛同して下さった各種団体、個人の皆様 :
資金提供 (合計 207,000 円、手取り 173,880 円)
- ・ 福島大学生生活協同組合 :
なべ、おたまの借用。白米の蒸かし作業。もち米を蒸かして下さったお菓子屋さんへの仲介。

【収支報告】

- ・ 収入の部
¥173,880 (Ready for より)
¥50,000 (京都災害ボランティア支援センターより)
¥41,100 (住民参加費)

小計 ¥264,980

※Ready for に関して

企画発足当初、物資、資金もゼロからのスタートを考えていたため、望年会開催に関わる全ての費用の設定をしたところ、20万円あれば開催できるということを見込んでおりました。そのため、Link with ふくしまを通じて、Ready for より20万円を目標金額として募らせていただきました。しかし、幸いなことに企画が進むにつれ、口コミ等でこの企画を知った方から、たくさんの“モノ”の支援をいただき、本来購入すべきものを買わずに、いただいたものだけで、運営できるようになりました。そのため、実質集まった20万円(手

取り 173,880 円) を大幅に使わずに開催する結果になってしまいました。各企業、団体、個人様にご支援くださいました理由として、仮設住宅での望年会というところに共感され、ご出資くださったということでしたので、みなさんの意思をくめずに、このように予算を余す結果になってしまいました。大変申し訳ありませんでした。

仮設住宅での支援ということで、今後とも長い支援が必要と考えていますし、今後とも続けていく予定です。今回集まった資金を、違う形ではありますが、何らかの仮設住宅支援の方に役立てていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

・支出の部

¥64,660 (ビンゴ景品、菜箸、しゃもじ、ザル、ビン後カード、包丁、七味唐子、カセットボンベ、バケツ、しょうゆ、粒あん、こしあん、納豆、きなこ、砂糖、なると、焼酎、もち米蒸かし料、なべ借用)

小計 ¥64,660

・繰り越し

264,980 - 64,660 = 200,320

200,320 円は次回以降の福大ボラセンの仮設住宅での活動資金に繰り越します。

【総評】

2 日間の望年会を終えて、被災された仮設住宅の住人の方と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。とても有意義な 2 日間だったと思います。

当日は各仮設住宅での内容は多少異なりますが、主に餅つきをして、つきたての餅をあんこ・きなこ等につけたり、汁餅にして食べたり、また、年越しそば、うどんを食べたりしました。作る過程において、おじいさん、おばあさん方が自分たちの不慣れな手つきを見て『こーやんだ』や『違う、違う』と言って、知恵を自分たちに教えてくださりました。また、ビンゴ大会や親睦会で仮設住宅の住民と学生とでお酒を飲みながらいろいろな話をしました。

今回目的としていた、“コミュニティの形成” ”人間関係の構築” ”心のリフレッシュ”。少なくともご参加くださった方々が喜び、幸せそうな表情を見る限り、達成できたのではと思います。また、そういう場を提供できたこと大変嬉しく思います。

参加者の言葉から、「仮設ではもちつきをできるとは思わなかった。ほんとにうれしい。」「本当に来てくれてありがとう。」「こんなこと考える余裕がなかった。来年はいい年にしたいね。」と心温まるお言葉をいただきました。素直にうれしかったです。

今回の課題として、学生住民間の交流が少なかったことと、準備段階での準備不足が挙げられました。年末ということで、前日までわたわたしてしまったことが、当日の余裕のない

運営につながったと思います。準備は入念にしていくことを今後の活動に活かしていきたい
と思います。

このように人が集まって、顔を合わせて、お話することで、生まれる関係性や、親密なコ
ミュニティ作りにつながります。ただ、忘年会で、楽しむだけでなく、1つ2つ先を見越し
た支援の形を今後も継続してければと思います。

これが終わりではなく、仮設住宅との関係性の始まりだと考えています。まだまだ生活は
大変ですが、少しでも生活に密着した長期にわたる生活支援を行っていこうと考えています。

最後に、今回ご支援くださった皆様。本当に感謝しています。たくさんの方々に支えられ
てこのように活動できたことスタッフ一同大変感激しております。

今回のご支援でも、日本中のつながり、温かさ、応援の厚さをひしひしと感じました。こ
うやって僕たちの活動に賛同して下さる方々へ、大変感謝しております。本当にありがとう
ございました。

【活動写真】

○宮代仮設住宅



○旧松川小跡仮設住宅



○旧飯野小跡仮設住宅



【チラシ】

各仮設住宅に配布、掲載したチラシです

大忘年会開催のお知らせ

福島大学災害ボランティアセンター

今年も残すところあと1か月となりました。2011年の締めくくりとして、大忘年会を開催します。新しい年を気持ちよく迎えるために、みんなで作って、飲んで、食べて、盛り上がりましょう！

当日は、年越しそばを作って食べます。親睦会もごさいますので、ぜひぜひみなさんと誘い合わせの上、ご参加ください！！

差し入れ、持ち込み大歓迎です！！！！



◆日程：12月 日() 10:00~16:00

◆場所：福島市内7ヶ所の仮設

浪江：宮代（第一、第二）、信夫台

飯館：松川第一、松川第二、松川小学校跡、飯野小学校跡、明治小学校跡

◆内容：そば、親睦会

・そば—こちらでそば玉とつゆ、具材、調理器具を用意しますので、「年越しそば」の意味を込めてみんなで作って食べましょう。

・親睦会—今年の最後の締めくくりとして、みんなで飲んで食べて、語りましょう。

◆会費：500円（当日回収）

※参加される方は下記の申込み用紙に記入の上、
連絡先

に提出をお願いします。

大忘年会 参加申し込み用紙

●参加者氏名： _____

●連絡先： _____

※なお、申込用紙に記入いただいた個人情報は当企画以外には使用いたしません。